

# エグゼクティブサマリ

## 第 I 部 イメージスキャナに関する調査

### (1) 2021年の出荷実績

2021年のイメージスキャナの出荷実績は以下のとおりであった。

2021年 イメージスキャナ市場	台数 (前年比)	金額 (前年比)
国内出荷と輸出を合わせた総出荷	303万台 (4%増)	677億円 (12%増)
フラットベッドスキャナ	66万台 (29%減)	60億円 (3%減)
ドキュメントスキャナ	236万台 (20%増)	617億円 (14%増)

2021年のイメージスキャナの出荷実績はコロナ禍の影響から復帰し、台数では約303万台（前年比4%増）、金額では約677億円（前年比12%増）と、台数・金額ともに増加という結果となった。

フラットベッドスキャナ（A3以下／50,000円以下のフラットベッド）は、台数では29%減、金額では3%減となった。近年加速する、一般オフィス／各企業業務のペーパーレス化にて使用されるドキュメントスキャナは、台数で20%増、金額で14%増となった。

### (2) 2024年までの出荷見通し

2024年 イメージスキャナ市場	台数 (2021年比)	金額 (2021年比)
国内出荷と輸出を合わせた総出荷	344万台 (14%増)	768億円 (13%増)
フラットベッドスキャナ	55万台 (16%減)	42億円 (29%減)
ドキュメントスキャナ	288万台 (22%増)	725億円 (17%増)

2024年のイメージスキャナの見通しは、台数では約344万台（2021年比14%増）、金額では約768億円（同13%増）と見通した。

このうちドキュメントスキャナは、2021年と比べて台数で22%増、金額で17%増となる見通しである。

一方、フラットベッドスキャナは、2021年と比べて台数で16%減、金額で29%減との見通しとなった。